

2010年 2月  
早稲田大学入学センター

早稲田大学大学院教職研究科入学試験問題の訂正内容  
(一般入試第二次日程筆記試験)

【教職教養】

問題用紙2ページ

問1 問題文4行目

(誤)

ドイツ(プロイセン)では王制のもとでの…

(正)

ドイツ(プロイセン)では王政のもとでの…

問題用紙2ページ

問1 選択肢

(誤)

ケ. 絶対王制

(正)

ケ. 絶対王政

問題用紙3ページ

問6 (2)の問題文

(誤)

肥満型—躁鬱器質、闘士型—粘着器質

(正)

肥満型—躁鬱気質、闘士型—粘着気質

## 2010年度 早稲田大学大学院教職研究科入学試験

(一般入試 (第二次日程) : 筆記試験 (教職教養) )

# 問題用紙

### 注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。  
なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。  
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 次の文章の空欄A、B、Cにあてはまるものを選択肢より選び、それぞれ解答欄に記号を書きなさい。

義務、無償、宗教的中立を原則とする近代の公教育制度は、欧米各国では1900年頃に確立された。しかし、その成立に関する各国の歴史的な状況はそれぞれ異なっていた。イギリスでは、(A)に伴う社会問題から子どもを救済すること、フランスでは(B)の理念に基づく新たな国民を形成すること、ドイツ(プロイセン)では王制のもとでの(C)を推進することが公教育制度を成立させる歴史的な背景となった。

ア. 清教徒革命	イ. ロシア革命	ウ. フランス革命	エ. 名誉革命
オ. 産業革命	カ. 二月革命	キ. ナポレオン法典	ク. 上からの近代化
ケ. 絶対王制	コ. 鉄血政治	サ. プロイセン改革	

問2. 次の①から⑤の説明文中で、誤っているものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- ①江戸時代に庶民の教育機関として発達した寺子屋では、初歩の手習を習った後、各種の内容の「往来物」を学んだ。
- ②1872年に発布された「学制」は、日本における初めての近代教育制度であったが、その実施にあたって協力・指導したのは、学監としてアメリカから招かれたモルレーであった。
- ③森有礼文相によって1886年に師範学校令が公布されたが、これにより主に小学校教員を養成する目的で府県立の尋常師範学校が設けられることとなった。
- ④1900年に小学校令が改正され、日本で初めて6年制の義務教育制度が実現した。
- ⑤小学校の教科書は1886年に検定教科書制度となったが、1903年に国定教科書制度に改められた。

問3. (a)から(e)の語句を時代順に並べたものとして正しいものを、①から⑤の中から1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

(a) 中央教育審議会の設置	(b) 「学習指導要領」を初めて告示
(c) 教育委員会法の公布	(d) 新学制による小学校・中学校の発足
(e) 義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律の公布	

- ① (d) → (a) → (c) → (e) → (b)
- ② (d) → (c) → (a) → (b) → (e)
- ③ (a) → (d) → (c) → (b) → (e)
- ④ (a) → (d) → (b) → (e) → (c)
- ⑤ (a) → (d) → (c) → (e) → (b)

問4. 次の①から⑤は、大正期・昭和期の日本の教育について、関連する事項を組み合わせたものである。組み合わせとして誤っているものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- ①千葉命吉＝自由教育論                      ②パーカー＝ドルトン・プラン  
③小砂丘忠義＝『綴方生活』                ④及川平治＝『分団式動的教育法』  
⑤沢柳政太郎＝成城小学校

問5. 以下は、教育基本法（平成18年12月22日法律120号）第4条の「教育の機会均等」に関する条文である。（ア）～（オ）にあてはまる適切な語句をそれぞれ解答欄に書きなさい。

- ・すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならないが、（ア）、信条、性別、社会的身分、（イ）地位又は門地によって、教育上差別されない。
- ・国及び地方公共団体は、（ウ）のある者が、その（ウ）の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。
- ・国及び地方公共団体は、（エ）があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、（オ）の措置を講じなければならない。

問6. 以下の3つの問いについて、それぞれあてはまる記号を解答欄に書きなさい。

- (1) ウェルナーが提唱した概念で、無生物を人と共通した表情、運動を持つものとして知覚することを示す概念は次のどれか。  
a) アニミズム心性    b) 相貌的知覚    c) 心像    d) ファンタジー
- (2) パーソナリティを病気と体型の特徴の関係から、細長型—分裂気質、肥満型—躁鬱器質、闘士型—粘着器質に分けたのは次の誰か。  
a) オルポート    b) ギルフォード    c) クレッチマー    d) シェルドン
- (3) スキナーが提唱した方法で、ティーチング・マシーンを用いて教材を提示し学習者に反応させ、学習者の反応に即時に正答・誤答の情報を与えることで学習を強化させてゆくことを何と呼ぶか。  
a) 古典的条件付け    b) オペラント条件付け    c) リスポンデント条件付け  
d) プログラム学習

問7. 以下の（A）～（D）のそれぞれの領域について、いずれかの用語を選び、その意味を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ用語をそれぞれ記入すること。

領域（A）

- ペスタロッチ
- 発見学習

領域（B）

- 国民学校
- 「教育ニ関スル勅語」

領域（C）

- 教科書と補助教材
- 学校設置基準

領域（D）

- 感覚統合
- 有意差